

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	社会福祉法人川崎愛児園
-----	-------------

取組の名称	こども広場あいあい
実施場所	川崎愛児園 地域交流スペース
対象地域	宮前区馬絹・小台地域および周辺の小学校区
対象地域の特色・課題	<p>川崎市内最多の児童が通う宮崎小学校を擁し、子育て家庭が非常に多く今後も増加が見込まれる地域である。その中には親の精神疾患、生活保護、ひとり親など養育が困難な状況の家庭も潜在的に存在している。新しい集合住宅も多く、地域とのかかわりが薄く子育ての悩みを抱え込んで孤立してしまう親も多いと思われる。共働き家庭を中心として学童保育の利用も多いが、小学校併設のわくわくプラザの利用は高学年になると行かなくなりこどもたちだけで遊ぶことが増える。</p> <p>上記のような状況から、課題として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談ができるような地域コミュニティの関係構築 ・こどもたちが地域の中で日中困ったときに相談できる大人の存在の確保 <p>があげられる。</p>
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の地域交流スペースを使用し、学習支援や余暇活動、食事や会話などを通じて、地域の中で子育てに困難を抱えている家庭、協力を得られない孤立した家庭、そしてこどもたちが、地域の人々とのつながりを持ち安心してすごせる場所を提供する。 ・多世代のボランティアが関わりながら、こどもたちの学びや体験機会の獲得に寄与する。

<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>○対象児童 宮崎小学校ほか近隣地域の小学校に通う小 1～小 6 の児童</p> <p>○実施日時 毎週木曜日 15:30～20:00</p> <p>○実施内容</p> <p>【1日の流れ】</p> <p>15:00～ 会場準備</p> <p>15:30～ 順次下校後の児童入室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習 スタッフ付き添いのもと宿題等を可能な限りマンツーマン体制で行った。 ・余暇活動 <p>① 室内 (卓球、トランプなどカードゲーム、将棋・オセロなどボードゲーム、折り紙、お絵かき、工作など)</p> <p>② 外出 (近隣地域の散策、公園でキャッチボール・サッカー・鬼ごっこなどの外遊び)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品の買い物や調理補助などの簡単なお手伝い体験 <p>※ひとり帰り児童の利用は 18 時まで</p> <p>18:00～ 夕食 ※こどもは無料。希望する保護者も 300 円で食べることができ、利用が増えてきた (固定 2 家庭、日によって +1 ～ 2 家庭)</p> <p>食後、引き続き余暇活動。順次保護者と帰宅。</p> <p>～20:00 会場片付け・閉室</p> <p>※上記の他、保護者も含めた交流の場として土日祝日にイベントを計 4 回実施 (3D 映像上映、みかん狩り・花の植栽、手話教室、昼食会)</p>		
<p>参加者の年代</p>	<p>6 歳～12 歳 (小学生)</p>	<p>定員 (1 回あたり)</p>	<p>10 名</p>
<p>実施頻度</p>	<p>週 1 回 (毎週木曜) 他、土日祝日に 年 4 回</p>	<p>活動日数 (年間)</p>	<p>50 日</p>

<p>スタッフ体制</p>	<p>常勤職員 1名 (日によって補助職員 1名) 有償ボランティア 6名 (生活学習スタッフ 3名 / 調理スタッフ 3名) ※地域ボランティア 登録 14名 (令和 6年 3月現在) 月ごとのシフト制</p>
<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<p>○宮崎小学校、他周辺の小学校 (児童の情報共有・保護者への 広報) ○こどものいえもも保育園 (広報) ○宮前区社会福祉協議会 (広報) ○民生委員児童委員 (情報共有・保護者への広報・児童の帰宅 時の付き添い)</p>
<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<p>【こども】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人が手厚く見守る環境下に、学校やわくわくになじめなかつた子どもも喜んで通い生き生きした表情で活動できていた。 ・利用開始の頃落ち着かず言葉遣いが荒かった子どもも、地域ボランティアとの温かな関わりの中で徐々に信頼関係を築き、安心感から笑顔も見られるようになった。 ・大勢で囲む温かな食卓で季節感のあるバランスの取れた食事を摂ることができた。 ・家庭で食べない食材に触れ、食べられるものが増えた。 ・イベントを通じて地域ボランティアの職業や社会活動に関連する体験ができた。 ・校区をまたいで新しい友達と関わることが出来た。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事中やお迎え時に職員やボランティアと雑談したりしながら顔なじみになり帰属意識・仲間意識が得られた。 ・イベントに親子で参加することで、日頃子どもが接しているボランティアの人となりを知ることができさらなる安心感につながった。 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもも大人も交わる場で地域の行事や歴史など様々な情報交換がなされた。 ・メンバーの紹介で新メンバーが加入し、事業に関心を寄せる多くの人たちにボランティアとして活躍してもらう場を提供することができた。